

2008年12月24日  
No 0818号  
働くルールの確立で  
人間性の回復を

# 明治乳業争議団 ニュース

発行 明治乳業争議団  
連絡先 〒272-0015  
千葉県市川市鬼高2-6-2  
☎・Fax 047-332-5698  
E-mail minyu88sgd@wing.com.ne.jp

08年 今年も大いに頑張りました (12月23日現在)

## 754行動 延べ参加人数2,587名



12・4 明治乳業本社包囲行動

「東芝の海老根さん」にオダテラレ、今年は何十年かぶりに本社前で合唱しました。

今年度の運動は、春の株主総会前の座り込みを含め、みずほ銀行・明治乳業本社前行動。秋のみずほ銀行150店舗への宣伝・要請行動。そして12月の明治乳業本社大包围行動の成功を目指して「ホップ・ステップ・ジャンプ」と名づけて年始めから頑張りました。

これらの行動は、司法での闘いが、全国事件の都労委では総論立証が年内に終了することから、これを優位に勝ち取ることに。市川事件では、最高裁の上告受理の判断も待たないことになること。こうした条件から、なんとしても「争議全面解決の道筋を切り開く年」に決断した取り組みとなりました。

また、九月には明治製菓との経営統合が発表され、「争議解決へ」の決意は一段と高まった取り組みとなりました。こうした状況の下、08年度の行動延べ人数は2,587名、行動数は754行動にも上りました。誰かが「老骨に鞭を打って」と冷やかしましたが、マダマダ青年です。来年も大いに頑張って解決の年に決意を新たにしています。

日時 09年1月27日 (火)  
会場 ラパスホール  
一部 総会 午後6時30分～7時15分  
二部 旗開き 7時30分～



### 第12回支援共闘会議総会と 09年新春争議団旗開きのご案内

08年1月29日開催された第11回総会で、争議解決の道筋を切り開く方針のもと、争議解決へ頑なな明治乳業経営陣の決断を促すために、筆頭株主であるみずほ銀行に対し、大株主としての役割と責任を果たせと本店座り込みと全国支店への要請・宣伝を強めてきました。

一方明治乳業と明治製菓が経営統合する新たな局面が発生し、臨時株主総会に対し、長期争議全面解決を求める質問書を提出し迫ってきました。しかし、いまだ解決を切り開くに至ってはおられません。

表記の件、この一年間の運動を総括し、争議全面解決に向け闘う方針を確認し、新たな決意のもとで「新春旗開き」を合わせて開催することになりました。ぜひ皆様方のご参加いただきご支援をよろしく願います。

09年 全国事件「都労委」日程  
1月21日 (水) 午前1時～12時  
2月25日 (水) 午後1時半～3時半  
3月25日 (水) 午後1時半～3時半  
皆様方の傍聴ご支援をよろしく願います。

年末カンパへのご支援ご協力を

明治製菓との経営統合を踏まえ運動量も拡大すると同時に、全国都労委証人調べも本格化してまいりました。明治乳業の不当労働行為に負けれない闘いです。皆様方のご支援をお願いします。

郵便払込  
加入者名「食の安全と職場を考える実行委員会」  
口座記号番号「00170-7-555867」



阿蘇外輪山のふもとで生まれ育った九州男児。九州男児に相応しく、学生時代は剣道、書道を学んだ。おかげで八尾労働事務所の新年挨拶は、毎年みごとな手書きの挨拶が貼り出される。

そんな青年が明乳大阪工場に就職すると、どこでどうなったのか休みになると職場の皆とバイクや家用車を連ねて名所旧跡を巡るツーリングサークルをつくり、リーダーとなった。バイクにはちよつとうるさい。少々の修理なら全部自分でやってみよう。

もちろん職場の先輩に学んで組合活動にも没頭し、定年後は地域労組の副執行委員長として、地域の労働者の相談にのって毎日奮闘している。組合事務所の水槽にはメダカが泳ぎ、季節ごとの花がテーブルの上に飾られている。竹細工で一輪挿しをたくさん作って、争議団の上京カンパに提供してくれる。今では一徹な「融通のきかないガンコオヤジ」だが、小鳥を愛し、花を愛し、自然を愛する彼のおかげで事務所らしくない事務所が賑わっている。

### 団員の横顔

九州男児は江戸の時代から文武両道  
今回は全国事件大阪争議団から  
秋吉 孝一です



09年 年初め宣伝行動  
経営統合前に  
争議解決を果たせ!

1月5日 (月)  
・明治製菓本社前  
8時30分～  
・明治乳業本社前  
12時～

# 08年、司法の場で、会社包囲で大きく前進、 来春、この力をさらに大きく



## 明治乳業は争議の全面解決を 決断し、社会的責任を果たすべきです

一月の争議支援共闘会議総会で、「今年を全面解決への道筋を切り開く年に！」の方向を確認。方針通りこの一年、司法の場で、また、明治乳業を社会的に包囲する運動を大きく前進させることができ、また、支援共闘会議と争議団は、来春に向けてこの力をさらに大きく飛躍させることを目指しています。

### みずほ銀行163店舗 へ宣伝・要請 各地労働団体などに 依拠し目標を上回る

争議解決をかたく拒否する明治乳業を解決のテーブルに着かせるためには、筆頭株主・みずほ銀行の役割が決定的に重要であるとして、再三本店要請を繰り返してきました。しかし同行は優柔不断な態度に終始し前進が見られませんでした。

今秋、この腰の引いた対応を改め主体性を持った姿勢に立たせるため、みずほ銀行全国支店攻めを実施しました。



当初150支店を目標に取り組みましたが、各地の労働団体などの大きなご支援・ご協力により目標を大幅に上回る

163店舗に宣伝・要請をする事が出来ました。今後、同行本店に対しては、労働組合・労働者の厳しい要

請を真摯に受け、消極姿勢を改め「統合」前解決に向け立ち上がることを求めて、さらに事件の高い運動を展開していく必要があります。

### 最高裁への 「上申書」提出 年内5000団体 目標を達成

一昨年「市川工場事件」を最高裁に上告してから、すでに一年半が経過しています。この間、東京高裁の不条理な判決は許せないとして、上告受理・弁論開始を求める「上申書」(団体署名)運動を全国で展開してきました。

目標の5000団体を年内達成に向けて奮闘してきましたが、12月24日の最高裁要請で目標を突破することとなりました。

同一署名運動での5000団体は過去最高であり、運動の新しい峰を築いたものです。多くの諸団体のご協力に感謝いたします。

### 原乳生産者と連帯 など新たな運動も 発展



さらに、本社前、みずほ銀行前での座り込み。社長宅周辺宣伝行動。統合相手の明治製菓本社・工場への要請・宣伝も強めてきました。また、関西での「明治乳業争議支援関西共闘会議」の結成は、今年の闘いの大きな前進であり、今後大いに期待されるものです。

# 明治乳業争議 司法での闘いこの一年

## ―全国都労委事件―

### 審査引き伸ばしと 相対比較抜きのある 「個別立証」 を意図した許せな い会社主張

総論立証では、申立人らに対する不当労働行為意思の下で、会社が継続して行なった不当労働行為の事実とその結果生じた著しい賃金・昇格差別の実態について、桜井・井村の両証人によって明らかにしましたが、会社はまたも反論すら出来なかつたばかりか、総論立証を行わず人事考課成績D以下の19名に対して7回延(13時間)4名の個別(あら探し)証人と、人事制度及び制度の

運用実態について労務部の田巻証人を立てて立証(2時間)する主張を行ない、更に、その後の人証計画については「当面留保する」と意図的審査の引き伸ばしと個別あら探しを意図した「意見書」を提出した。



11月27日に送付された労働委員会の審査計画書(案)は、会社主張を前

会社に強く求め、相対比較抜きの個別立証、更には事件の併合問題などを積極的に受け止めた審査指揮を行なうべきです。

提出に組み立てられていることから、申立人らは次回期日(12月24日)を前に「個別立証などに関する進行意見書」を提出しました。

都労委は正確な救済命令を行なうためにも、申立人らの「勤務振り」に関する具体的な主張書の提出や職分・賃金関係の資料提出を求め、相対比較抜きの個別立証、更には事件の併合問題などを積極的に受け止めた審査指揮を行なうべきです。

高裁判決は、「除斥期間の趣旨」など救済制度の枠組みを理由に格差を認定しながら自ら救済することを放棄し、「中労委の裁量範囲」として判断を避ける矛盾に満ちた結論を出した。しかし、



争議団・支援共闘・弁護団はこのような高裁判決に於ける審理不備や理由の不備、更には労組法解釈適用の誤りや最高裁判例違背などの視点から上告受理申立理由書や補充書(5)を提出し、毎月の宣伝要請行動は12月24日で19回を数え団体署名は5000を超えました。労働者を犠牲にして利益を最優先する企業の身勝手な行為が社会的に糾弾されている今日の情勢は、最高裁が会社の不当な行為を戒める意味からも速やかに上告受理をなし、労働者救済の公正な判断を行なうことを強く求めているのです。